

姫神山山開きに参加

平成27年5月17日（日）、盛岡市玉山区の姫神山（1124メートル）で山開きがありました。姫神山は盛岡森林管理署管轄の国有林となっており、当署から署長、森林技術指導官、盛岡担当区の首席森林官をはじめ、4月から盛岡森林管理署に配属された新規採用の職員も山開きに参加しました。



式典、テープカットの後、一本杉登山道から頂上を目指し登山を開始しました。

一本杉登山道は、約1時間半で山頂に到着でき、親子連れの登山者も多く見られました。登山道には、ブナやミズナラなどの広葉樹やミヤマスマシレなどの花も多くあり、植物も楽しむことができました。特にスギの展示林にある一本杉の前には、多くの登山者が立ち止まり記念撮影をしていました。



この日は時折、強い風が吹いたもののおおむね晴天に恵まれ、雲の間から姿を見せる岩手山の雄大な眺望も楽しむことができました。頂上では、記念の手ぬぐいが配られました（予定数終了で当署職員には当たりませんでした）。そして、姫神山をこよなく愛した石川啄木ゆかりの品々を展示している施設の職員による歌の朗読に続き、登山者全員による万歳三唱が行われました。



石川啄木の歌の通り、人と自然が親しむ場としての山の大切さに改めて気づく山開きでした。

「ふるさとの山に向かひて言ふことなし ふるさとの山はありがたきかな」

（山頂で朗読された石川啄木の歌）